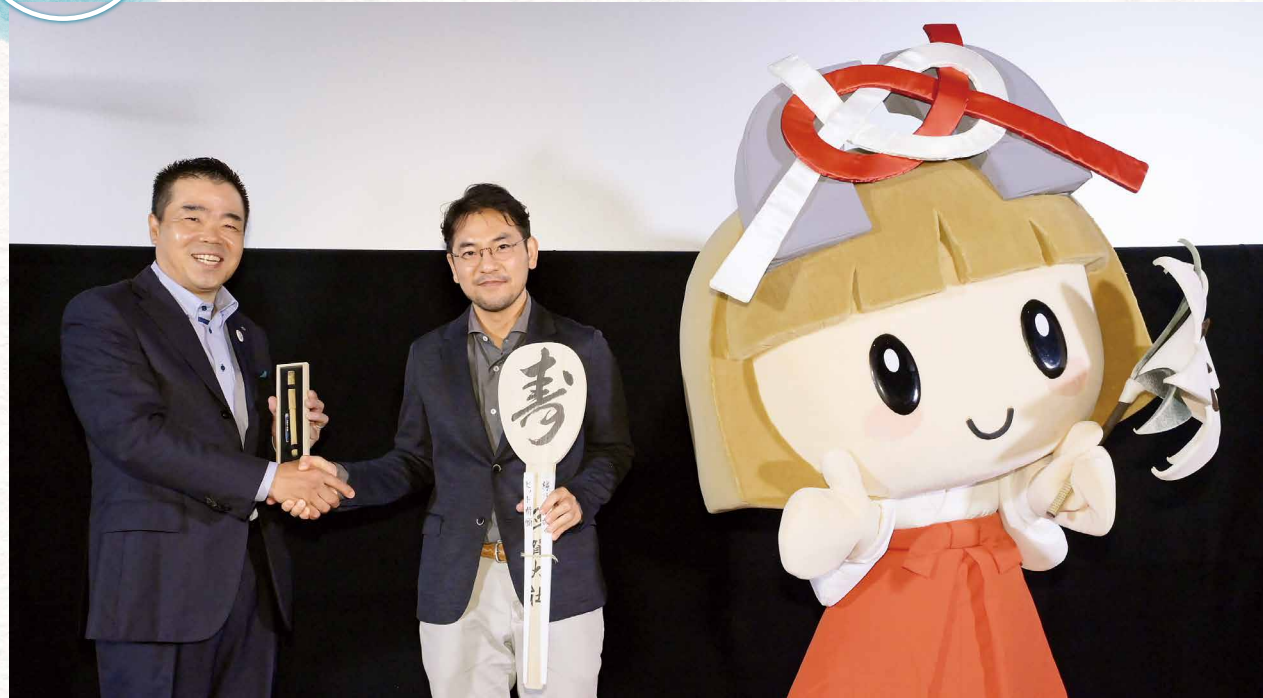


映画『線は、僕を描く』トークイベントを開催しました！



小泉徳宏監督に記念品を贈呈する三日月大造知事と多賀町のマスコットキャラクターたがゆいちゃん

滋賀県内各所で撮影が行われた映画『線は、僕を描く』(10月21日(金)公開)の公開を記念して小泉徳宏監督をお招きし、8月26日にトークイベントをユナイテッド・シネマ大津で開催しました。

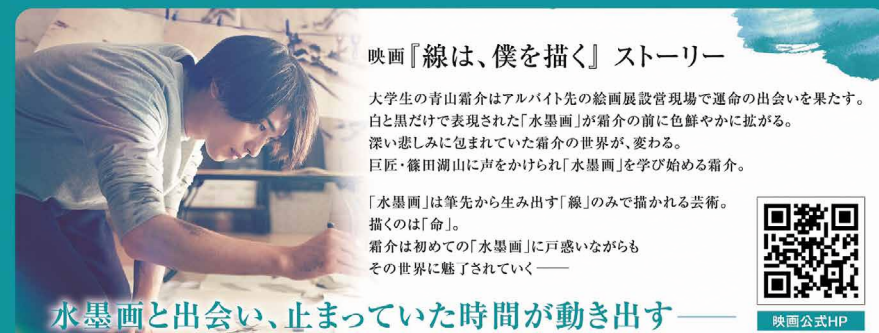
小泉監督からは「映画『ちはやふる』を撮影した時は舞台が滋賀という必然性があったが、本作はチームで「もう一度滋賀に行きたいね」という話になって選びました。それは、滋賀の皆さんの撮影を迎え入れてくれる体制が本当に整っていて、撮影がしやすかったという思いが出があったから。また、琵琶湖という滋賀特有のものもありますが、色々な風景があり「日本のどこにでもなれる」場所でもある。滋賀は撮影に向いているなど、皆さんもまだ気が付いていない滋賀の魅力に僕は気が付いたと思っています。」と「ロケ地・滋賀県」を絶賛していただきました。

イベントには三日月大造知事も登壇され、映画で描かれた【水墨画】にちなんで「琵琶湖の天然ヨシを使った筆ペン」が知事から監督に贈呈され、映画のロケ地となった多賀大社がある多賀町のマスコットキャラクター「たがゆいちゃん」も登場し、大盛況にイベントは終了しました！



滋賀県では時に緩やかに、時に大胆に、白と黒を繋ぎながら描かれる水墨画の世界のように、歴史ある寺社仏閣や豊かな自然景観、そして人々の営みが幾世代を超えて守り伝えられてきました。滋賀県では、そんな時間の流れや暮らしを体感することで心のリズムを整える新たな旅を「シガリズム」として提案しています。

ぜひ、映画『線は、僕を描く』のロケ地を巡り、「シガリズム」を体感する旅にお越しください。



映画『線は、僕を描く』ストーリー

大学生の青山龍介はアルバイト先の絵画展覧会現場で運命の出会いを果たす。白と黒だけで表現された「水墨画」が龍介の前に色鮮やかに広がる。深い悲しみに包まれていた龍介の世界が、変わる。巨匠・藤田湖山に声をかけられ「水墨画」を学び始める龍介。

「水墨画」は筆先から生み出す「線」のみで描かれる芸術。描くのは「命」。龍介は初めての「水墨画」に戸惑いながらもその世界に魅了されていく――



水墨画と出会い、止まっていた時間が動き出す――

映画『線は、僕を描く』×滋賀県 デジタルスタンプラリーキャンペーン

映画公開を記念して、滋賀県内の映画ロケ地を巡った方に素敵なプレゼントが当たるデジタルスタンプラリーキャンペーンを実施します。ぜひ奮ってご参加ください。

参加方法 お手持ちのスマートフォンのGPS機能をオンにした状態で指定されたポイントの二次元コードを読み取ってください。

実施期間 2022年10月21日(金)～2022年12月31日(土)



※キャンペーンの詳細、最新情報とご注意点を特設サイトにてご確認ください。 ※各ポイントによって開閉日がありますので、特設サイトで確認ください。 ※キャンペーンに関するお問い合わせ先：shiga-sankou@e-jp.jp

NHK大阪放送局制作朝ドラ 連続支援10作品目！

連続テレビ小説「舞いあがれ！」の撮影が滋賀県で行われました！



今年の6月に彦根港・松原水泳場で撮影された人力飛行機の記録飛行シーンが放送されました。撮影は夜明け前から機体の組み立て作業などが行われ、屈の状態をひたすら待ち続け、無事に希望通りのシーンを撮影してもらうことができました。また、松原水泳場での救助シーンの撮影では彦根市の漁師さんやマリンショップの方のご協力もあり、リアリティのあるシーンの撮影をしていただくことが出来ました。

滋賀で撮影プロジェクト!!
こちら
主な支援作品は

作品名	主なキャスト	公開・放送日	ロケ地
大河ドラマ「鎌倉殿の13人紀行(第16回)」	-	2022年4月30日	大津市
BS時代劇「大岡越前6」	東山紀之	2022年5月13日など	近江八幡市
映画「大河への道」	中井貴一	2022年5月20日	大津市
映画「京都カモ探偵」	塚本高史	2022年6月17日	草津市
映画「破戒」	間宮祥太郎	2022年7月8日	豊郷町、日野町
NHK特集ドラマ「二十四の瞳」	土村芳	2022年8月8日	大津市、野洲市、日野町
BS松竹東急チャンネル「発祥の里ニッポン」	森口遙子	2022年9月1日	近江八幡市、野洲市、高島市
Amazon prime video「モアザンワーズ」	藤野涼子	2022年9月16日	大津市、草津市、野洲市
日本映画・時代劇4K「三屋清左衛門残日録-あの日の声-」	北大路欣也	2022年9月19日	東近江市
BS朝日「無用庵隠居修行6」	水谷豊	2022年9月20日	大津市、甲賀市
NHK連続テレビ小説「舞いあがれ！」	福原遥	2022年10月3日など	彦根市、長浜市
NHK「ファミリーヒストリー」	西川貴教	2022年10月17日	滋賀県内
映画「線は、僕を描く」	横浜流星	2022年10月21日	大津市、近江八幡市、草津市、栗東市、甲賀市、野洲市、湖南市、東近江市、日野町、多賀町

編集後記

歴代の担当者にロケエピソードを当初依頼した際には、「そんないっぱい書けない」「もう覚えてないぞ」といった弱気な発言をされる方もおられましたが、いざ提出していただく、文字数が大幅に超過していたり、複数のエピソードを執筆していただいたり、諸先輩方の書かれたものを添削するという、大変ありがたい苦勞をさせていただきました(笑)。そして、歴代スタッフのエピソードでも語られています。滋賀ロケの活動の大きな支えとなっているのが、滋賀ロケサポーターのみなさんの存在です。コロナの感染状況も一定落ち着き、映像業界からも止まっていた時間を取り戻すように、多くの支援依頼がきています。サポーターのみなさんにもご協力をお願いすることが増えてくるかと思いますが、引き続き変わらぬご支援をお願いします。



SHIGA LOCATION OFFICE 滋賀ロケーションオフィス

滋賀県大津市京町4丁目1番1号 滋賀県商工観光労働部 観光振興局内
TEL.077-528-3745 FAX.077-527-7329 [公式HP] <http://www.shiga-location.jp>

滋賀ロケーションオフィスは、滋賀県内での映像制作を誘致・支援するために、滋賀県および県内各市町が設置した組織です。今年で20周年を迎えました。映画やドラマなどの作品とおして滋賀県の魅力をPRし、県民の方々と共に地域振興を図り、湖国滋賀の観光の振興や活性化を目指しています。

【構成会員】滋賀県、大津市、彦根市、長浜市、近江八幡市、草津市、守山市、栗東市、甲賀市、野洲市、湖南市、高島市、東近江市、米原市、日野町、竜王町、愛荘町、豊郷町、多賀町

【協賛団体】株式会社R&P、今津サンプリングホテル、近江鉄道株式会社、有限会社菓子長、株式会社関西のみい銀行、株式会社草津第一ホテル、甲賀高分子株式会社、株式会社滋賀銀行、滋賀建機株式会社、滋賀県信用保証協会、有限会社白浜荘、生活衛生同業組合滋賀県興行協会、株式会社千成亭風土、株式会社中央精器 滋賀支店、株式会社ティーウィング、株式会社TMオフィス、株式会社tuc、株式会社トヨレンタリース滋賀、光交通株式会社、ひこねステーションホテル、びわ湖大津プリンスホテル、琵琶湖汽船株式会社、琵琶湖グランドホテル、びわ湖放送株式会社、株式会社平和堂、ホテルルートイン彦根、水口アレックスシネマ、明治安田生命保険 大津北営業所、明治安田生命保険 滋賀支社、やまに料理店、ラーメン桃李路



滋賀ロケーションオフィス NEWS

開設20周年記念号

Vol.35



開設20周年を迎えて...

滋賀ロケーションオフィスは2002年4月の設立以来、多くの県民の皆様のご理解とご協力をいただきながら、映画・ドラマ・CM・MVなど様々な撮影をサポートしてきました。「滋賀に來れば撮れないシーンはない」という映像製作者の期待と、「滋賀ロケーションオフィスに任せれば大丈夫」という地域の信頼に応え続けられるように、これからも全力でサポートを続けます。

滋賀ロケーションオフィス スタッフ一同



滋賀ロケーションオフィス歴代スタッフ 思い出に残るロケエピソード

滋賀ロケーションオフィスは20年間の活動期間の中で、1,600件を超える映画・ドラマ・テレビ番組・CM等のロケ支援を行ってきました。それらロケ支援の一件一件に、時には新たなロケ地を求めて山や野を駆け巡り、時には地域の方と撮影スタッフの話し合いのファシリテーターを務め、そして撮影当日には撮影の全てを見守った歴代の滋賀ロケーションオフィススタッフがいます。

今回設立20年という節目にあたり、撮影の裏側を見つけてきた歴代のスタッフから思い出に残るエピソードを集めました。ぎゅっと凝縮した20年分の秘話を是非お楽しみください！

吉野 謙一
在籍期間
2002年度～2005年度

映画

「踊る大捜査線THE MOVIE 2 レインボーブリッジを封鎖せよ！」



映像業界への売り込みに力を注いだ1年目の終わりに舞い込んだのが、この大作の支援でした。東京お台場のレインボーブリッジを完全封鎖するという劇中の設定を再現するために100名近いサポーターの皆さんに愛車とともに

に参加いただき、開通前の京滋バイパスで撮影を行いました。完了検査を直前に控え、タイヤ痕NGのため、転回場所では路面に保護シートを設置するなど細心の注意が求められました。撮影開始の合図でエキストラ車が一齐に走り出す光景に感動、CG合成された映画の中では違和感なくレインボーブリッジに仕上がっていました。深夜にまで及んだ3日間の大規模ロケは作品の知名度と特殊な環境下でのロケという話題性もあり、開設間もないオフィスにとっては絶好のPRの機会となりました。

瀬川 進一
在籍期間
2006年度

テレビ朝日ドラマ

「エライところに嫁いってしまった！」



希望していた滋賀ロケへ配属され、いろいろな作品に携わっていくと気分を入れ頑張っていました。たった1年で異動となり非常に残念な思いをしたのを覚えています。短い在職期間でしたが、特に思い出深いのが、仲間由紀恵さん主演ドラマの「エライところに嫁いってしまった！」です。当時、東京のドラマが滋賀で撮影なんてありえないのに何の拍子か来ちゃったんです。

浜野会館での撮影では、約80人のエキストラの方に参加してもらいましたが、撮影が押し退けられ、短い在職期間でしたが、特に思い出深いのが、仲間由紀恵さん主演ドラマの「エライところに嫁いってしまった！」です。当時、東京のドラマが滋賀で撮影なんてありえないのに何の拍子か来ちゃったんです。

明石 清孝
在籍期間
2007年度～2009年度、
2021年度～

映画

「火天の城」



安土城築城のストーリーでありながら、「滋賀でのロケは無いかもしれない」と東映スタッフに言われ、「一念発起」して必死で県内ロケ候補地を探しました。無事にオープンセットを建設してのロケ、安曇川河川敷でのロケ、琵琶湖湖岸でのロケ、湖北の神社でのロケなど、たくさんのロケが行われました。

ロケには連日大勢のサポーターの皆さんに早朝からエキストラ出演していただくなど、大変お世話になりました。映画公開後は多くの方に安土へ訪問いただいた思い出のある作品です。

主題歌「空が空」(中孝介さん)のPVも琵琶湖湖岸と安土城跡でロケしました。イントロやレールの運搬(階段の上り下り)が本当に大変でした。

片山 昇
在籍期間
2007年度～2013年度

NHK大河ドラマ

「江～姫たちの戦国～」



大友啓史監督のあり得ないほど高いクオリティーの要求に必死で応えていった映画「るろうに剣心シリーズ」や、撮影のため一か月以上も出勤できなかった「偉大なる、しゅらぼん」など、もう一回やれと言われたら戻込みしそうな(笑)作品がありましたが、私のFC*としての足場を固めてくれた作品として強い思いがある作品は、大河ドラマ「江～姫たちの戦国～」です。

伊勢田雅也監督の作品に対するイメージをお聞きし、想像を膨らませながら、様々な位置から琵琶湖を眺め、数えきれないほどの寺社仏閣を見て回りました。まさに必死で食らいつきました。経験したことのない特殊な業界に馴染めず、FCとしての自信が全く持てなかった私でしたが、この大作を乗り越えられたことにより、何とかやっていけるのではないか、と思わせてくれた作品です。 *FC:フィルム・コミッション(Film Commission)とは、地域活性化を目的として、映像作品のロケーション撮影が円滑に行われるための支援を行う公的団体

大菅 博樹
在籍期間
2010年度～2012年度

ABC土曜ワイド劇場

「温泉若おかみの殺人推理28～おごと温泉・盗まれた琵琶湖の謎!!」



最近、滋賀舞台の作品がないな、と思っていたところ「おごと温泉をメインにドラマを撮りたい」との電話が入りました。東京の制作会社なので滋賀のロケ地はあまり馴染みがないとのこと。これは滋賀をPRできる絶好のチャンス、と思わずガッツポーズ。

温泉だけでなく観光地でも撮影してもらおうと必死に提案。結果、全編オール滋賀ロケ・100%滋賀舞台となりました。撮影は約2週間、多くの滋賀ロケサポーターさんに出演いただき、代表的な観光地に限らずロケ実績が少ない市町でも撮影。1作品でロケ地30か所は過去最多ではないかと思えます。

放送後上司から「滋賀の観光ドラマやった、最高に良かった」と言っていたので、2週間の激務が報われたのを覚えています。

和田 英之
在籍期間
2018年度～2017年度、
2019年度～2020年度

映画

「関ヶ原」



「関ヶ原」は公開時のプロモーションも含め3年間支援した作品です。1か所でも多く滋賀で撮影いただこうと、滋賀県内を走り回り、姉川河口や愛知川など新規のロケ地を開拓し、また国宝の社寺での撮影調整などを行いました。撮影には、滋賀ロケーションオフィスサポーターの皆さんにエキストラとして参加していただき、ケイタリング業者、宿泊業者の皆様などにもご協力いただきオール滋賀で臨みました。

「さあ次はプロモーションに向けて」と、撮影時にプロデューサーと立ち話。この立ち話が重要なんですよ。主役の岡田准一さんと共演の平岳さんがサプライズ登場をする小中学生に向けた特別課外授業イベントの企画が通り、イベント当日は大いに盛り上がり大成功。3年間の疲れがぶっ飛びました。撮影の誘致から滋賀の魅力発信までつながった思い出深い作品です。

北村 勘吉
在籍期間
2014年度～2016年度

映画

「君の隣にをたべたい」



「雰囲気のある図書館で撮影がしたい。」という問い合わせでロケハンがスタート。本物の図書館と図書館に見える建物を回り、外観は滋賀大学の講堂、内観は旧豊郷小学校に決定。

次は、本当の図書館ではない旧豊郷小学校を図書館にするための本探し。その数3万冊。協力してもらったのは、彦根翔西館高等学校と長浜北高等学校。当時、両校は学校が統合されたばかりで図書室に本がたくさんあるのでは?と思い、お願いして貸していただきました。

そして、図書棚をつくり、本を搬入して、スタッフ総出で深夜まで作業をするなど、大変な撮影でしたが、図書館に滋賀の関連本コーナーを設けたり、劇中のタクシーの滋賀ナンバーを映していただくなど滋賀のPRにも一役買った?思い出深い作品のひとつとなりました。

増本 喜久
在籍期間
2017年度～2019年度

NHK連続テレビ小説

「スカーレット」



待望の滋賀県舞台の連続テレビ小説、ロケもできるだけ県内と意気込んでいました。とくに物語冒頭で登場する琵琶湖のロケ地探しが印象に残っています。「良い場所なければ、どこかの海にロケ行くしかないな～」とスタッフに冗談交じりに脅かされ、琵琶湖を何周もして必死で探し、ようやくロケが決まりました。

ロケ当日は4月にも関わらず、みぞれが降る寒さでしたが、奇跡的に撮影直前に雪と雨が止んで青空に。この日は、ドラマのクランクインの日でもあり、滋賀県舞台のドラマの始まりにぴったりの、晴れ晴れとした琵琶湖岸で繰り広げられる撮影風景を感慨深く眺めていました。数か月後、ドラマ放送が始まり、琵琶湖のシーンがテレビ画面に映し出されたときの感動は今でも覚えています。

柴田 智之
在籍期間
2018年度～2020年度

映画

「るろうに剣心 最終章 The Final/The Beginning」



シリーズ全作で県内ロケ地が登場する映画「るろうに剣心」。最終章のプレロケハンから約3年間に渡って携わり、自分自身が成長させて貰った思い出深い作品です。いくつも提案したシーンをやっと県内ロケで決めて

いただけた時の達成感、今でも忘れられません。ロケ地や宿泊施設、ロケ弁業者様など、関係者全員が一丸となって臨んだ作品です。早朝・深夜の撮影や暖冬で期待した積雪がない等の課題もありましたが、この作品での経験は私の財産となりました。プロモーションで大友啓史監督に過去作も含めたロケ地・滋賀の魅力を語って頂き、多くの方に滋賀ロケの取組を知って貰えたのではと考えています。作品を通して、映画ファンの心に滋賀県の素晴らしさが伝わってれば幸いです。

青木 傑
在籍期間
2018年度～2021年度

日本テレビ系

「アナサースカイⅡ」



携わった作品全てが良き思い出ですが、なかでも2020年に支援した「アナサースカイ」が印象に残っています。滋賀ふるさと観光大使である西川貴教さんが滋賀を紹介する回でした。制作会社にロケ地の希望を尋ねたところ、「約1時間、集中してインタビューが撮れる素敵な場所」と依頼がありました。滋賀をPRする絶好の機会。ただ、予備日が確保できない撮影であるため、天候に左右されないことは最低条件。

撮影経験のあるロケ地からいくつか候補を出すも、いずれもイメージに合わず…。本番日も迫ってくる中、なんとか見つけたのが信楽にあるお店でした。苦労した分、いざ映像で見た時の達成感は一ひしおです。2年以上前の話になりますが、今でも近くを通ると、ふと撮影時の情景が思い浮かびます。

安藤 恵多
在籍期間
2021年度～

NHK土曜ドラマ

「わけもんー長崎通訳異聞ー」



2021年の6月に、急速、滋賀ロケに配属になり、はじめてロケハンから担当した作品が「わけもんー長崎通訳異聞ー」でした。大型船のセットを彦根港に設置したり、ドローンや火気を使用した撮影、重要文化財建造物での撮影など一つの作品の中で様々なシーンの撮影を経験し、短期間でFCスタッフとして支援依頼に対応できるようになりました。

またNHKの制作担当の方が滋賀県でのロケ経験が豊富な方で、しかも年齢が一つ上の滋賀県出身の方ということもあり、出会った瞬間から「先輩後輩」のような関係となり、先輩からはロケ地の探し方、現場での立ち振る舞い、FCの役割など様々なことを教えていただき、それが今の自分の仕事の土台となっています。